
第 124 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2006 年 10 月 17 日(火) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 岩本 容泰 氏 (トーマスジェファソン大学医学部整形外科・教授)

タイトル: 関節形成の制御機構

四肢の長管骨は、肢芽の形成により始まる。肢芽では、間葉系細胞がこん棒状に凝集する。その後、凝集塊が分岐分節して骨格のパターンが作られる。これまでの研究で、骨格の形成時には様々な転写調節因子や形態形成制御因子が特異的なパターンで発現することがわかっている。このセミナーでは、基本的な形態形成制御因子の一つである wnt の骨格パターンならびに関節形成における役割を紹介するとともに、関節軟骨の性質決定に及ぼす作用について私どもの研究成果を述べる。また、関節疾患と wnt の関わりについても考察したい。

大学院歯学独立研究科長・硬組織疾患制御再建学講座 小澤 英 浩